



ブリストル・マイヤーズスクイブ社、 2004年度第4四半期および、通年の売上高と利益発表

- ブリストル・マイヤーズスクイブ社は、第4四半期の継続事業からの完全希薄化後1株当たり利益（特定項目を除いたベース）について、0.07ドル（非GAAPベースでは0.39ドル）と発表しました。
- 通年の継続事業からの完全希薄化後1株当たり利益（特定項目を除いたベース）は、1.21ドル（非GAAPベースでは1.70ドル）でした。
- 継続事業からの純売上高は、第4四半期には2%増の52億ドル、通年では4%増の194億ドルとなりました（Oncology Therapeutics Networkの売上高を除く）。
- 2004年米国雇用創出法（American Jobs Creation Act）に従い、1回限りの優遇税率で2005年度の利益を本国に送金することを見越して、第4四半期に5億7,500万ドルの繰延べ所得税を負担しました。
- 第4四半期に、Oncology Therapeutics Network（OTN）事業を売却する最終契約に署名しました。
- 2005年度における継続事業からの通年の1株当たり利益見通し（特定項目を除いたベース）について、1.27ドル～1.37ドル（非GAAPベースでは1.35ドル～1.45ドル）と発表しました。

ブリストル・マイヤーズスクイブ社（本社：アメリカ・ニューヨーク州ニューヨーク/会長：ピーター・ドーラン/ NYSE：BMY）は、2004年度第4四半期の業績について、継続事業からの純利益1億3,900万ドル、継続事業からの売上高52億ドルと発表しました。同四半期における通年の継続事業からの完全希薄化後1株当たり利益（特定項目を除いたベース）は、0.07ドル（非GAAPベースでは0.39ドル）でした。2004年度通年の継続事業からの売上高194億ドルに対し、継続事業からの純利益は24億ドルでした。通年の継続事業からの完全希薄化後1株当たり利益（特定項目を除いたベース）は、1.21ドル（非GAAPベースでは1.70ドル）でした。当社は2004年12月に、OTN（Oncology Therapeutics Network）事業を売却する最終契約に署名。そのため、OTN事業の結果は、中止された事業として記載されています。OTNの第4四半期、および通年の純売上高は、それぞれ6億9,100万ドルと25億ドルで、その利益は2004年度および2003年度の基本、および希薄化後1株当たり利益に影響を与えませんでした。

ブリストル・マイヤーズスクイブ社のピーター・R・ドーラン会長兼CEOは、「PLAVIX[®]およびAVAPRO[®]/AVALIDE[®]（アバプロ/アバライド）を含む当社の主力インライン医薬品の継続的な成長、3種類の新製品（ABILIFY[®]、REYATAZ[®]、およびERBITUX[®]）の堅調な伸び、そしてその他の医療事業の一部における2桁成長といったすべての要因が、通年および第4四半期の堅実な業績に大きく貢献しました」と語り、続けて、「当社が今後も戦略を実施し、将来的な成長とリーダーシップに向けて組織を構築する上で、これらの主要ブランドの堅調な業績により、製品ポートフォリオの移行が順調に進んでいます。また、今後については、進行中の製品ポートフォリオの移行に伴って、特許権満了による収益への圧力にもかかわらず、2004年度と同様にパイプラインと成長要因を強化しながら、意義のある投資を継続します。終盤段階にある3種類の有望なパイプライン化合物（ムラグリタザール、アバタセプト、およびエンテカビル）については、引き続き前向きに捉えています。このうち2種類については過去4か月間に申請済みであり、もう1種類についても今年初頭に申請を完了する予定です」と、語っています。

第4四半期の業績

- 継続事業からの第4四半期純売上高は、2%増の52億ドルとなり、世界純売上高に見られるこの増加は、販売価格の変更により1%相殺されたものの、為替変動によって3%のプラス効果を受けた結果です。同四半期における米国の純売上高は、ABILIFY[®]（アビリファイ）、REYATAZ[®]（レイアタツ）、ERBITUX[®]（エルビタックス）を含む新製品の売上高増とPLAVIX[®]（プラビックス）の継続的な伸長によって一部相殺されたものの、主にPRAVACHOL[®]（プラバコール）の競合激化、MONOPRIL[®]（モノプリル）およびPARAPLATIN[®]（パラプラチン）に関する特許権満了、ならびにGLUCOPHAGE[®]（グルコファージ）のフランチャイズを受け、2%減少しました。米国外純売上高は、ジェネリック薬との競合によるPRAVACHOL[®]の売上高減少によって7%増（為替のプラス効果を排除すると1%減）となりました。
- 当社は、新製品の成長と新規化合物の開発に引き続き投資し、マーケティング費・販売費・一般管理費は、主として新製品の強化、生産性構想、慈善寄付の増加、および2002年Sarbanes-Oxley法の順守活動に伴うコストを受け、11%増の14億ドルとなりました。広告・販売費は、成長要因と新製品を重視する当社の方針に従い、ABILIFY[®]、REYATAZ[®]、PLAVIX[®]への投資を増額し、インライン製品への支出減額によりその一部が相殺された結果、2003年度比2%増の4億2,400万ドルとなりました。2004年度および2003年度の第4四半期にそれぞれ発生したマイルストーン・ペイメント1,500万ドルと、ライセンス契約の一時金8,100万ドルを除くと、研究開発費は、主としてムラグリタザールや糖尿病治療薬のデュアルPPAR作動薬、関節リウマチ治療薬アバタセプト、およびB型肝炎治療薬エンテカビルを含め、開発の終盤段階にある化合物への投資を継続しました。ムラグリタザールの共同開発費のうち、メルク社の負担分によって一部相殺された結果、2003年度の6億3,400万ドルから4%増加し、6億6,200万ドルとなりました。
- 2004年度第4四半期の継続事業からの利益（少数持分と税金控除前）は、主として2003年度第4四半期に確認された訴訟問題のための2億6,500万ドルの引当金増が、製品構成の変更と一部製品の特許権満了による売上原価の上昇、ならびにマーケティング費・販売費・一般管理費増によって一部相殺されたことにより、2003年度の9億2,300万ドルから13%増の10億3,900万ドルとなりました。2004年度における継続事業からの純利益は、2003年度の5億600万ドルから73%減の1億3,900万ドルとなり、2004年度第4四半期の継続事業からの利益（少数持分と税金控除前）に対する実効税率は、2003年度の31.6%に対し、73.7%となりました。この実効税率の高さは、主として2004年米国雇用創出法に従い、2005年度に米国外子会社からの特別配当金のうち約90億ドルを本国に送金することを見越して、第4四半期に概算の繰り延べ所得税として5億7,500万ドルを計上したこと、および一定の慈善寄付の繰越しに対する評価引当金の設定に関して経費が生じたことが理由となっています。高い実効税率を一部相殺した要因には、2004年6月30日に失効したResearch and Development Creditsの遡及的復活、外国税額控除の増額、および2003年度に控除対象外とされた一定の訴訟引当金計上の取り扱いが含まれます。5億7,500万ドルの繰り延べ所得税の負担は、配当金の本国送金に関連する税金に対する現時点の推定額です。この推定額は、議会や財務省によって新たな指導や説明が行われたり、当社による事実の想定に変更が生じた結果、修正されることがあります。2004年度における継続事業からの基本、および希薄化後1株当たり利益は、2003年度の0.26ドルから73%減の0.07ドルとなりました。同四半期における基本、および希薄化後の平均発行済株式数は、それぞれ2003年度の19億3,700万株と19億7,300万株に対して、それぞれ19億4,300万株と19億7,600万株でした。

- 2004年度および2003年度の第4四半期に、業績の比較をする上で影響を及ぼした所得と経費の項目を計上しました。2004年度における税引前特定項目は、米国、プエルトリコ、およびヨーロッパでの特定業務に関する加速償却と解雇手当の関連経費6,100万ドル、訴訟関連の経費1,600万ドル、および1,500万ドルのマイルストーン・ペイメントを含んでいますが、ミードジョンソン成人向け医療用栄養食品事業の売却益に対する400万ドルの調整で一部相殺されました。2004年度の特定項目には、前述のとおり第4四半期に概算の繰り延べ所得税として負担した経費5億7,500万ドルも含まれます。2003年度の税引前特定項目は、主として訴訟関連の経費総額2億6,500万ドル、2件のライセンス契約の一時金8,100万ドル、加速償却・減損費・配置転換費・維持費・解雇手当・その他の解約料に関する4,000万ドルを含んでいますが、前期のリストラクチャリング引当金の調整に関連した1,100万ドルの収益によって一部相殺されました。2004年度における継続事業からの基本1株当たり利益（これらの特定項目を除いた非GAAPベース）は、2003年度の0.43ドルから7%減の0.40ドルとなり、継続事業からの希薄化後1株当たり利益は、2003年度の0.43ドルから9%減の0.39ドルとなりました。特定項目の詳細は、付録1を参照ください。

● 通年の業績

- 2004年度通年の継続事業からの純売上高は、為替変動のプラス効果を受けて、4%増の194億ドルとなりました。米国の純売上高は、PLAVIX[®]、AVAPRO[®]/AVALIDE[®]、SUSTIVA[®]（サスティバ）を含む主力ブランドの処方需要の伸びとABILIFY[®]、REYATAZ[®]、ERBITUX[®]を含む新製品の導入により増加しましたが、MONOPRIL[®]（モノプリル）およびPARAPLATIN[®]の特許権満了とGLUCOPHAGE[®]フランチャイズを受けてその他の製品の売上高が減少したことによって相殺され、106億ドルと一定でした。米国外純売上高は、10%増（為替変動のプラス効果を排除すると2%増）の88億ドルでした。この2%の売上高増は、主としてPLAVIX[®]、AVAPRO[®]/AVALIDE[®]、REYATAZ[®]の売上高増とヨーロッパでのABILIFY[®]発売によって、PRAVACHOL[®]の低迷が相殺された結果です。
- マーケティング費・販売費・一般管理費は、主としてABILIFY[®]への一層の販売強化等、新製品を強化した結果、9%増の50億ドルとなりました。広告・販売費は、ABILIFY[®]、REYATAZ[®]、PLAVIX[®]への投資を増加し、インライン製品と通常実施権を持つ製品への支出を減額した結果、2003年度と変わらず14億ドルとなりました。研究開発費は、主として開発の終盤段階やバイオロジクス分野への投資を含む新規開発プロジェクトへの投資を増額し、ムラグリタザールの共同開発費のうちメルク社の負担分によって一部相殺された結果、10%増の25億ドルとなりました。
- 通年に関し、継続事業からの利益（少数持分と税金控除前）は、2003年度の46億8,000万ドルから6%減の44億1,800ドルとなりました。2004年度の利益減は、製品構成の変更と一部製品の特許権満了による売上原価の上昇、研究開発費への投資拡大、後述の所得と経費の項目が、米国外売上高増によって一部相殺された結果です。2004年度における継続事業からの純利益は、2003年度の30億9,700万ドルから23%減の23億7,800万ドルとなりました。2004年度の継続事業からの利益（少数持分と税金控除前）に対する実効税率は、2003年度の25.9%に対し、34.4%となりました。この実効税率の高さは、主として、前述したとおり、第4四半期に概算の繰り延べ所得税として計上した5億7,500万ドルが、税金払戻請求の有利な解決、外国税額控除の増額、および2003年度に控除対象外とされた一定の訴訟引当金計上の取り扱いによって、一部相殺された結果です。2004年度における継続事業からの基本1株当たり利益は、2003年度の1.60ドルから23%減の1.23ドルとなり、継続事業からの希薄化後1株当たり利益は、2003年度の1.59ドルから24%減の1.21ドルとなりました。通年の基本および希薄化後の平均発行済株式数は、それぞれ2003年度の19億3,700万株と19億5,000万株に対して、それぞれ19億4,200万株と19億7,600万株でした。

- 2004年度および2003年度の通年に、業績の比較をする上で影響を及ぼした所得と経費の項目を計上しました。2004年度の税引前特定項目は、訴訟関連の経費総額5億700万ドル、米国およびヨーロッパの一部部門の加速償却と解雇手当2億1,200万ドル、アコーディス買収による進行中の研究開発費の償却6,300万ドル、およびマイルストーン・ペイメント5,500万ドルを含んでいますが、ミードジョンソン成人向け栄養製品事業の売却益3億2,000万ドルで一部相殺されました。2004年度の特定項目には、前述のとおり第4四半期に概算の繰り延べ所得税として負担した経費5億7,500万ドルも含まれます。2003年度の税引前特定項目は、主として訴訟関連の経費総額1億9,900万ドル、加速償却・減損費・配置転換費・維持費・解雇手当・その他の解約料に関する1億3,300万ドル、4件のライセンス契約の一時金1億200万ドルを含んでいますが、前期のリストラクチャリング引当金の調整に関連した4,000万ドルによって一部相殺されました。2004年度における継続事業からの基本1株当たり利益（これらの特定項目を除いた非GAAPベース）は、2003年度の1.79ドルから3%減の1.73ドルとなり、継続事業からの希薄化後1株当たり利益は、2003年度の1.78ドルから4%減の1.70ドルとなりました。特定項目の詳細は、付録1を参照ください。

事業セグメント別第4四半期純売上高

医薬品事業

- 世界の医薬品事業の売上高は、2003年度の40億8,200万ドルから1%増の41億2,900万ドルとなりました。米国外医薬品事業の売上高は、8%の為替変動のプラス効果を含め、3%増の18億7,400万ドルとなりましたが、米国医薬品事業の売上高は22億5,500万ドルと一定でした。米国医薬品事業の売上高は、ABILIFY[®]、REYATAZ[®]、ERBITUX[®]を含む新製品の売上高増によって一部相殺されたものの、PRAVACHOL[®]を巡る競合の激化、PARAPLATIN[®]の特許権満了、ならびにGLUCOPHAGE[®]のフランチャイズから悪影響を受けました。第4四半期末時点で、米国医薬品企業によって販売される当社の主力医薬品製品の推定在庫レベルは、合わせて3週間超でした。
- 主に米国で販売している抗血小板用薬PLAVIX[®]の売上高は、主として米国市場で処方伸びが約19%と堅調であることを受けて、2%の為替変動のプラス効果を含め、2003年度の8億800万ドルから19%増の9億5,900万ドルとなりました。PLAVIX[®]は、当社とサノフィ・アベンティス社の提携により発売された循環器用製品です。
- PRAVACHOL[®]の売上高は、4%の為替変動のプラス効果を含めて、2003年度の7億2,900万ドルから3%減の7億1,000万ドルとなりました。米国でのPRAVACHOL[®]の売上高は、主として米国卸売業者の在庫レベルが増加（第4四半期末時点で推定3週間超）し、管理医療の割戻金が減額されたことにより、6%増の4億3,300万ドルとなりました。米国における総処方数は、約16%減少し、米国外売上高は、主としてドイツとイギリスを含むヨーロッパの一部市場での特許権満了を受け、9%の為替変動のプラス効果を含めて、14%減の2億7,700万ドルとなりました。
- 高血圧治療用のアンジオテンシンII受容体拮抗剤AVAPRO[®]/AVALIDE[®]の売上高は、ヨーロッパでの売上高増により、4%の為替変動のプラス効果を含めて、2003年度の2億3,000万ドルから13%増の2億5,900万ドルとなりました。米国における総処方数は、約14%の増加でした。AVAPRO[®]/AVALIDE[®]は、当社とサノフィ・アベンティス社の提携により発売された循環器用製品です。

- HIV/AIDS 治療用の非核酸系逆転写酵素阻害剤 SUSTIVA[®]の売上高は、2004 年度第 3 四半期における製品の受注残が第 4 四半期に解消され、さらに 2003 年度第 4 四半期に米国卸売業者の在庫低減が行われたことを受けて、2003 年度の 1 億 3,900 万ドルから 24%増の 1 億 7,200 万ドルとなりました。米国の総処方数は、2004 年度第 4 四半期に約 3%増加し、第 4 四半期末時点で米国卸売業者の在庫レベルは 2 週間超と推定されました。
- 米国では 2003 年度第 3 四半期、ヨーロッパでは 2004 年度第 2 四半期に発売された HIV/AIDS 治療用のプロテアーゼ阻害剤 REYATAZ[®]の売上高は、1 億 4,800 万ドルでした。REYATAZ[®]は、米国のプロテアーゼ阻害剤市場の週間新規処方数で約 28%のシェアを達成しました。
- 主力抗癌剤 TAXOL[®]の売上高は、2003 年度の 2 億 3,900 万ドルに対し、2 億 5,600 万ドルとなりました。米国外にほぼ限定される TAXOL[®]の売上高は、主としてヨーロッパにおけるジェネリック薬との競合により、7%増（為替変動のプラス効果を排除すると 1%減）となりました。TAXOL[®]のジェネリック薬との競合は、2004 年度第 2 四半期に主要なヨーロッパ市場の大部分で見られ始め、2004 年度下半期に激化しました。
- 抗癌剤 PARAPLATIN[®]の売上高は、2004 年 10 月に複数の競合するジェネリック薬企業が参入したことを受けて、2003 年度の 2 億 400 万ドルから 87%減の 2,700 万ドルとなりました。
- ほぼ米国内でのみ販売され、難治性の転移性結腸直腸癌の治療に使用される ERBITUX[®]の 2004 年度第 4 四半期売上高は、2004 年度第 3 四半期の 8,400 万ドルに対し、8,800 万ドルとなりました。ERBITUX[®]は、2004 年 2 月に FDA の承認を受けました。
- ABILIFY[®]の総売上高は、主として大塚製薬との共同販促国の純売上高に当社が占める 65%のシェアに対する提携売上高であり、2003 年度の 8,000 万ドルから 139%増の 1 億 9,100 万ドルとなりました。ABILIFY[®]は、抗精神病薬として統合失調症の治療に使用することに関し、米国の抗精神病薬市場の週間新規処方数で 10%以上のシェアを達成しました。2004 年 6 月以降のヨーロッパにおける ABILIFY[®]の総売上高は、2,600 万ドルとなっています。2004 年 9 月に FDA は、双極性障害における急性躁病の治療薬として ABILIFY[®]を承認しました。

栄養食品事業

- 2004 年度第 1 四半期に売却された成人向け医療用栄養食品事業の影響を排除すると、世界売上高は、為替変動の影響を受けずに、2003 年度の 4 億 7,400 万ドルから 7%増の 5 億 500 万ドルとなりました。
- 成人向け医療用栄養食品事業の影響を排除すると、米国外売上高は、主として乳児用ミルクおよび子供用栄養食品の売上高増により、1%の為替変動のプラス効果を含めて 17%増加しました。一方で米国売上高は、主として低価格 WIC（女性、乳児、子供）プログラムへの参加が増加し、これを受けて他の乳児用ミルク市場が縮小したことから、2%減少しました。
- 決算ベースでは、世界の栄養食品事業の売上高は、2003 年度の 5 億 2,600 万ドルから 4%減の 5 億 500 万ドルとなりました。

その他のヘルスケア事業

- コンバテックの売上高は、主として創傷被覆材の売上高が大幅に伸長したことを受け、7%の為替変動のプラス効果を含めて、2003年度の2億4,100万ドルから10%増の2億6,600万ドルとなりました。
- メディカル・イメージング剤の売上高は、主としてCARDIOLITE[®]（カーディオライト）の売上高増により、2003年度の1億2,900万ドルから19%増の1億5,400万ドルとなりました。
- 消費者向け医薬品の売上高は、主として米国におけるEXCEDRIN[®]（エキセドリン）の売上高増により、2003年度の9,800万ドルから5%増の1億300万ドルとなりました。

進展状況

- 2004年9月、慢性B型肝炎治療薬として開発中の研究用抗ウイルス剤エンテカヴィルの新薬申請書を米国食品医薬品局（FDA：The Food and Drug Administration）に提出、FDAからエンテカヴィルの優先審査を認められました。さらにエンテカヴィルの販売認可申請書を欧州医薬品審査庁（EMA：The European Medicines Evaluation Agency）に提出しました。
- 2004年11月、当社とMedarex, Inc.（Medarex）は、CTLA-4受容体をターゲットとする完全なヒト抗体研究用製品MDX-010の開発および商品化に関し、世界的な協力関係を締結しました。Medarex社によって開発されたMDX-010については、現在、転移性メラノーマの治療薬として第III相試験段階の臨床開発が行われています。協力契約は、1976年Hart-Scott-Rodino独占禁止改善法（The Hart-Scott-Rodino Antitrust Improvements Act）に基づく待機期間の終了を含め、双方の企業が政府の許可および承認を受けた上で、2005年1月付で発効します。当社は2005年1月に、2,500万ドルの現金をMedarexに支払いました。これは、研究開発費およびMedarexに対する2,500万ドルの株式投資として使用されました。
- 2004年12月、当社とコルゲンテック社は、エディフォリジド（E2Fデコイ）に関する2件の第III相臨床試験のうち1件目の重要な結果を発表しました。末梢動脈移植患者が参加した臨床試験では、プラセボ対照群と比較して、エディフォリジドによる治療群に術後12か月間の静脈移植片閉塞の発生率として定義された効果があることを、主要および副次エンド・ポイントによって証明することができませんでした。エディフォリジドは、冠状動脈および末梢動脈での静脈移植片閉塞を予防するための研究用製品です。
- 2004年12月、OTNの売却計画を進め、One Equity Partnersと最終的な売却契約を締結しました。2005年度上半期にこの移行が完了する予定です。
- 2004年12月、当社とGilead Sciences, Inc.（Gilead）は、米国で当社のSUSTIVA[®]とGileadのTruvada[®]の定量併用療法を開発および商品化するジョイントベンチャーを開始しました。これが承認されると、新製品は、HIVに対して1日1回の定量併用で投与する初の完全な高活性抗レトロウイルス薬（HAART）治療レジメンとなります。

- 2004年12月、当社と、Mylan Laboratories Inc.と Watson Pharmaceuticals, Inc.のジョイントベンチャーである Somerset Pharmaceuticals, Inc. (Somerset) は、Somerset のうつ病患者の急性治療および維持治療用の経皮パッチとして投与される研究用モノアミンオキシターゼ阻害薬 EMSAM[®] (selegiline transdermal system) の商品化と販売に関する契約を締結しました。Somerset は、2004年2月にFDA から EMSAM[®] に対する「承認可能」通知を受け取り、FDA に承認されれば、EMSAM[®] は初のうつ病用の経皮治療薬となります。
- 2004年12月、II型糖尿病患者の治療用に開発が進められている治験薬ムラグリタザールの新薬申請書をFDAに提出しました。当社とメルク社は、ムラグリタザールの世界的な開発と商品化で協力しています。
- 2004年12月、FDA の Continuous Marketing Application (CMA) Pilot 1 の規定に従って提出したアバタセプトの生物製剤承認申請 (BLA) の段階的承認申請に対する最新データを提出しました。アバタセプトは関節リウマチ治療用の研究用生物薬で、その開発プログラムに対してはFDA から優先審査資格が認められました。BLA の非臨床 (Non-Clinical) および臨床 (Clinical) 区分は既にFDAに提出済みであり、残りの区分については今年初めに提出予定となっています。
- 2005年1月、当社と大塚製薬は、米国 FDA から ABILIFY[®] の経口液剤に対する承認を受けました。この経口液剤は2月に薬局で発売されます。
- 2005年1月、米国およびカナダの消費者向け医薬品事業を売却する意向を発表しました。日本、中国、南米、ヨーロッパ、中東、およびアフリカにおける当社の消費者向け医薬品事業はこの売却に含まれません。

2005年度の見通し

当社では、2005年度における継続事業からの完全希薄化後利益を調整された非 GAAP ベースで 1.35 ドル～1.45 ドルと予測しています。これらの予測では、「非 GAAP 財務情報の使用 (Use of Non-GAAP Financial Information)」に規定されているとおり、GAAP ベースの 1 株当たり利益に含まれる特定項目が除外されます。最も重要な点は、発表済みの外部開発活動と予想される製造事業のリストラクチャリングに関連するマイルストーン・ペイメントの費用により減少することです。特定項目を考慮に入れると、継続事業からの完全希薄化後 1 株当たり利益は 1.27 ドル～1.37 ドルとなります。調整された非 GAAP 値を特定項目を反映させた値に合わせて調整した詳細は、当社 Web サイトの補足資料に記載されています。この情報には、研究開発の償却につながる新規の取引や取り決め、その他のリストラクチャリング、2005年下半期に実施予定のストックオプションの費用、資産処分による売却益、保険還付、および重要な訴訟に関連する費用など、年度中に発生したその他の項目が含まれていません。また、この予測では、そのような修正や指導が当社の Form 10-K 発行に続いて実施されれば、2004年雇用創出法の修正や財務省からの指導を受けて必要となる可能性がある、2004年第4四半期に記録された繰り延べ所得税に対する調整も除外されています。

上記の開示のとおり、2005年度に特許権満了に伴って予想される売上高減が同年度におけるインライン製品、最近発売の製品、および新製品の売上高増によってある程度相殺されることが予想されるものの、既に特許権が満了したか、または特許権満了が予定されている製品はマージンが高いため、製品構成の変更は悪影響を及ぼします。さらに、新製品導入とその他の新規化合物の開発および発売の強化に投資したことにより、利益に悪影響が生じる見込みです。当社では、医療ニーズの高い未対処の 10 疾病領域に集中し、専門家や重要なプライマリーケア処方者への販売とマーケティングへの重点を高める戦略に沿って、引き続きコストベースの合理化を図ります。

上記のとおり、一部製品における市場特許権保護の満了に伴い、過去数年間に大幅な売上高減を経験しました。当社では2005年度の売上高減を予想しており、それらの製品と2005年度に市場特許権が満了する一部製品の売上高は引き続き減少する見込みです。2003年度、2004年度、および2005年度に特許権保護が満了する製品（主に米国におけるCEFZIL[®]、PARAPLATIN[®]、VIDEX EC[®]、ヨーロッパと日本におけるTAXOL[®]、ヨーロッパにおけるPRAVACHOL[®]）について、2005年度は2004年度のレベルから14億ドル～15億ドルの範囲で純売上高が減少すると予測しています。特許権満了による売上高減の時期と金額、特定の時期における売上高減の発生、および残りの売上高の最終的なレベルは不明であり、特許権保護満了時点での売上高、ジェネリック薬の競合激化の時期とその度合い（承認スピード、市場参入、および影響）、あるいはその他の要因によって異なります。

今後の売上高増に関する当社予測では、2004年度に33億ドルの純売上高を記録し、純売上高でトップの製品となっているPLAVIX[®]の売上高が大幅に増加することが見込まれています。現在、2011年に失効するPLAVIX[®]の組成物特許が米国で訴訟の対象となっており、PLAVIX[®]に関連する同様の訴訟は、カナダを始め米国外でも開始されています。当社では、特許が有効であると同時に侵害されていると考え、提携パートナーであり特許保有者であるサノフィ・アベンティス社と共に、積極的にこれらの訴訟問題に取り組んでいます。現時点では、これらの訴訟の結果や、訴訟で不利な決定が下された場合にPLAVIX[®]とジェネリック薬が競合する時期を正当に評価することはできません。ただし、米国内でジェネリック薬との競合が仮に発生するとしても、当社では2005年度下半期まで競合はあり得ないと考えています。

当社および子会社は、数件の重要な訴訟、請求、審理、および調査を受けています。現時点では、これらの調査や訴訟の結果を正当に評価することはできません。マネジメントは、上記のとおり、今後数年間に、これらを始めとする訴訟の影響が蓄積し、当社の事業とキャッシュフローの実績にとって、さらには財務状態と流動性にとって現状以上に重大なものとなる可能性があると考え、引き続き考えています。今後数年間に関する上記の当社予測は、事業実績に対する訴訟の潜在的影響を反映したものではありません。

PLAVIX[®]の特許訴訟に関する法的事項の詳細については、2003年度 Form 10-K/A 年次報告書の「第8項 財務諸表と補足データ（Item 8. Financial Statements and Supplementary Data）」に記載されている「注22 訴訟と偶発事象（Note 22 Legal Proceedings and Contingencies）」を参照ください。

非 GAAP（一般会計原則）に基づく財務情報の使用

本プレスリリースは、一定のコスト、経費、損益、その他指定項目を除外するために調整された、非 GAAP に基づく 1 株あたりの利益情報を含んでいます。GAAP による利益項目でありながら、調整済み利益を確定するために除外される項目は、製品ラインの販売、株式投資の売却または償却、および事業の中止による収益または損失、リストラまたはこれに類する費用、重要な法的手続きに関する費用または回収額、共同プロモーションまたは提携の費用、および GAAP に基づき契約期間を通して小額ずつ償却するのではなく、直ちに必要経費として処理する進行中の研究開発に関する支払いです。本情報は、当社の過去の財務実績と今後の見通しについて、投資家の総合的な理解を高めることを意図しています。例えば、非 GAAP に基づく 1 株あたりの利益情報は、当社が、自社の業務実績を反映するものではないと考える項目に優先して、当社のベースライン業績を示すものです。また本情報は、当社が、自社の業績の評価、リソースの配分、インセンティブ報酬目標の設定、今後の期間のプランニングと予測を行うための根拠として用いる主要指標に属しています。本情報は、GAAP に従って作成される 1 株あたりの希薄化された利益と分離して、あるいはこれに代わるものとして考えられることを意図したものではありません。

###

担保要因に関するステートメント

本プレスリリースは、当社の財務状況、営業実績、市場における位置づけ、製品開発、事業戦略に関する目標、計画、予測に関連するステートメントについて、1995年民間有価証券訴訟改正法の趣旨の範疇に含まれる一定の先見的ステートメントを含んでいます。当該ステートメントは、「期待」、「予測」、「推定」、「予想」、「提案」、「指針」、「予定」、「計画」、「見込み」およびその他将来の営業または財務業績に関連する同様の単語・用語を用いているという事実によって識別することができます。そうした先見的ステートメントは現在の予想に基づくものであり、遅延、転換、変更を来し、実際の成果・業績を現在の予想と大きく異なるものとする数々の要因をはじめとして、内在的リスクと不確実性を伴います。そうした要因には、市場要因、管理医療グループおよび機関・政府系購入者による価格統制と圧力（規則や実務の変更を含む）、メディケア、メディケド、医療改革に関連する司法判断および政府の法律・規制、薬事上のリベート・払い戻し、競争力のある製品開発、卸売業者の在庫レベルの変化、政府の規制と法令、製品開発・製造・販売における困難と遅延、特許上の立場、訴訟、財務報告書リステートメントプロセスに関する訴訟または政府による調査の影響と結果が含まれます。パイプライン製品に関しては、今後の臨床試験が今回のリリースに記載するデータを裏付ける、もしくは当該製品が規制上の承認を受ける、あるいは商業的に確実に成功するという保証はできません。これらやその他のリスクと不確実性に関する詳細および検討については、当社の証券取引委員会関連書類を参照してください。当社は、新たな知見、今後の出来事の結果を問わず、一切の先見的ステートメントについて、公に更新する義務を負うものではありません。

###

ABILIFY®は、大塚製薬の商標です。

AVAPRO®、AVALIDE®、および PLAVIX®は、サノフィ・アベンティス社の商標です。

ERBITUX®は、イムクロン・システムズ社の商標です。

GLUCOPHAGE®、GLUCOPHAGE® XR、および GLUCOVANCE®は、ドイツ・ダルムシュタットにある Merck KGaA の関連会社 Merck Sante, S.A.S. の登録商標です。

Truvada®は、Gilead Sciences, Inc. の商標です。

EMSAM®は、Somerset Pharmaceuticals, Inc. の商標です。

ブリストル・マイヤーズ スクイブ社
事業セグメント別売上高

2004年12月31日および2003年12月31日までの3か月間および12か月間
(未監査、100万ドル単位)

	3か月間		12か月間	
	12月31日まで		12月31日まで	
	<u>2004年</u>	<u>2003年</u>	<u>2004年</u>	<u>2003年</u>
医薬品事業	\$ 4,129	\$ 4,082	\$ 15,482	\$ 14,925
栄養食品事業	505	526	2,001	2,023
その他のヘルスケア事業	<u>523</u>	<u>468</u>	<u>1,897</u>	<u>1,705</u>
継続事業からの純売上高	<u>\$ 5,157</u>	<u>\$ 5,076</u>	<u>\$ 19,380</u>	<u>\$ 18,653</u>

ブリストル・マイヤーズ スクイブ社主力製品
2004年12月31日および2003年12月31日までの3か月間および12か月間
(未監査、処方薬データ以外は100万ドル単位)

下記表は、2004年12月31日までの3か月間および12か月間に世界および米国で計上された主力製品の純売上高を、2003年12月31日までの3か月間および12か月間とそれぞれ比較したものです。さらにこの表には、当社の米国プライマリーケア医薬品処方製品の一部に関し、記載された比較期間について、該当する場合に処方数増加の概算合計（小売および通信販売顧客の両方）が示されています。処方数増加の概算は第三者のデータに基づいており、国内医薬品売上高が占める割合が高いのは、卸売業者に対するものです。計上された純売上高の変化率が処方数の増加と異なる場合、純売上高における変化率には潜在的な処方者の需要が反映されていない可能性があります。

	世界の純売上高			米国の純売上高			米国の合計における変化率
	2004年	2003年	変化率	2004年	2003年	変化率	2003年度比の処方件数
12月31日までの3か月間							
医薬品事業							
循環器領域							
Plavix	\$ 959	\$ 808	19%	\$ 816	\$ 688	19%	19%
Pravachol	710	729	(3)%	433	407	6%	(16)%
Avapro/Avalide	259	230	13%	154	151	2%	14%
Monopril	68	118	(42)%	9	55	(84)%	(81)%
Coumadin	76	54	41%	69	46	50%	(14)%
抗ウイルス領域							
Sustiva	172	139	24%	103	82	26%	3%
Reyataz	148	49	*	99	46	115%	88%
Videx/Videx EC	67	68	(1)%	25	27	(7)%	(10)%
Zerit	67	76	(12)%	31	34	(9)%	(29)%
感染症領域							
Cefzil	89	117	(24)%	60	89	(33)%	(35)%
腫瘍領域							
Taxol	256	239	7%	7	1	*	該当なし
Paraplatin	27	204	(87)%	(12)	163	(107)%	該当なし
Erbitux	88	-	-	88	-	-	該当なし
情緒（精神）障害領域							
Abilify（総売上高）	191	80	139%	170	79	115%	62%
代謝領域							
Glucovance	7	109	(94)%	7	107	(93)%	(85)%
栄養食品事業							
Enfamil	224	201	11%	154	140	10%	該当なし
その他のヘルスケア事業							
Ostomy	152	142	7%	47	45	4%	該当なし
Cardiolite	108	80	35%	95	71	34%	該当なし
Wound Therapeutics	111	94	18%	39	34	15%	該当なし

*200%以上

	世界の純売上高			米国の純売上高			米国の合計における変化率
	2004年	2003年	% 変化率	2004年	2003年	% 変化率	2003年度比の処方件数
12月31日までの12か月間							
医薬品事業							
循環器領域							
Plavix	\$ 3,327	\$ 2,467	35%	\$ 2,833	\$ 2,085	36%	24%
Pravachol	2,635	2,827	(7)%	1,420	1,605	(12)%	(10)%
Avapro/Avalide	930	757	23%	562	474	19%	15%
Monopril	274	470	(42)%	34	228	(85)%	(77)%
Coumadin	255	303	(16)%	228	277	(18)%	(17)%
抗ウイルス領域							
Sustiva	621	544	14%	364	334	9%	4%
Reyataz	414	88	*	305	83	*	*
Videx/Videx EC	274	267	3%	106	109	(3)%	(4)%
Zerit	272	354	(23)%	119	174	(32)%	(29)%
感染症領域							
Cefzil	270	327	(17)%	161	234	(31)%	(30)%
腫瘍領域							
Taxol	991	934	6%	31	52	(40)%	該当なし
Paraplatin	673	905	(26)%	537	769	(30)%	該当なし
Erbix	261	-	-	260	-	-	該当なし
情緒（精神）障害領域							
Abilify（総売上高）	593	283	110%	554	280	98%	103%
代謝領域							
Glucovance	169	424	(60)%	165	419	(61)%	(51)%
栄養食品事業							
Enfamil	859	808	6%	585	569	3%	該当なし
その他のヘルスケア事業							
Ostomy	551	512	8%	167	164	2%	該当なし
Cardiolite	406	324	25%	361	285	27%	該当なし
Wound Therapeutics	391	319	23%	130	109	19%	該当なし

*200%以上

プリストル・マイヤーズ スクイブ社
要約連結損益計算書
2004年12月31日および2003年12月31日までの3か月間および12か月間
(未監査、1株当たりの金額以外は100万ドル単位)

	3か月間		12か月間	
	12月31日まで		12月31日まで	
	2004年	2003年	2004年	2003年
純売上高	\$ 5,157	\$ 5,076	\$ 19,380	\$ 18,653
売上原価	1,665	1,525	5,989	5,406
マーケティング費・販売費・一般管理費	1,390	1,251	5,016	4,620
広告・販売費	424	414	1,411	1,415
研究開発費	677	715	2,500	2,279
外部調達による進行中の研究開発費	-	-	63	-
事業売却益	(4)	-	(320)	-
リストラクチャリング引当金およびその他項目、正味	29	8	104	26
訴訟調停費用	16	265	420	199
持分法投資損益	(69)	(27)	(273)	(151)
その他費用/(利益)、正味 ^(a)	<u>(10)</u>	<u>2</u>	<u>52</u>	<u>179</u>
	<u>4,118</u>	<u>4,153</u>	<u>14,962</u>	<u>13,973</u>
継続事業による利益 少数持分と税金控除前	1,039	923	4,418	4,680
法人所得税繰入額	766	292	1,519	1,210
少数持分、税控除後	<u>134</u>	<u>125</u>	<u>521</u>	<u>373</u>
継続事業による利益	\$ 139	\$ 506	\$ 2,378	\$ 3,097
中止された事業からの純利益	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>9</u>
純利益	<u>\$ 139</u>	<u>\$ 506</u>	<u>\$ 2,388</u>	<u>\$ 3,106</u>
普通株1株当たり利益:				
基本:				
継続事業による利益	\$ 0.07	\$ 0.26	\$ 1.23	\$ 1.60
中止された事業からの純利益	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
普通株1株当たり純利益	<u>\$ 0.07</u>	<u>\$ 0.26</u>	<u>\$ 1.23</u>	<u>\$ 1.60</u>
希薄化後:				
継続事業による利益	\$ 0.07	\$ 0.26	\$ 1.21	\$ 1.59
中止された事業からの純利益	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
普通株1株当たり純利益	<u>\$ 0.07</u>	<u>\$ 0.26</u>	<u>\$ 1.21</u>	<u>\$ 1.59</u>
平均発行済株式数:				
基本	1,943	1,937	1,942	1,937
希薄化後	1,976	1,973	1,976	1,950
(a) その他の費用/(利益)、正味				
支払利息	\$ 91	\$ 70	\$ 310	\$ 277
受取利息	(39)	(18)	(105)	(65)
外国為替売買損/(益)	(30)	13	5	23
その他、正味	<u>(32)</u>	<u>(63)</u>	<u>(158)</u>	<u>(56)</u>
	<u>\$ (10)</u>	<u>\$ 2</u>	<u>\$ 52</u>	<u>\$ 179</u>

付録 1

ブリistol・マイヤーズ スクイブ社
特定項目

2004年12月31日および2003年12月31日までの3か月間および12か月間
(未監査、100万ドル単位)

2004年12月31日までの3か月間

	売上原価	研究開発費	事業売却 益	リストラク チャリング 引当金およ びその他項 目、正味	訴訟調停 費用/ (利 益)	合計
訴訟関連:						
民事訴訟および政府調査	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 16	\$ 16
その他:						
成人向け医療用栄養食品事業売却益	-	-	(4)	-	-	(4)
加速償却	30	2	-	-	-	32
世界事業の縮小および合理化	-	-	-	29	-	29
マイルストーン・ペイメント	-	15	-	-	-	15
	<u>\$ 30</u>	<u>\$ 17</u>	<u>\$ (4)</u>	<u>\$ 29</u>	<u>\$ 16</u>	<u>88</u>
上記項目に対する所得税						(26)
外国利益の本国送金に対する優遇税率						<u>575</u>
継続事業による純利益の減少						<u>\$ 637</u>

2003年12月31日までの3か月間

	売上原価	研究開発費	リストラク チャリング引 当金およびその 他項目、正味	訴訟調停費 用/ (利益)	合計
訴訟関連:					
民事訴訟および政府調査	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 150	\$ 150
製造物責任	-	-	-	15	15
医薬品価格および売上高訴訟	-	-	-	100	100
	-	-	-	265	265
その他:					
ライセンス契約の一時金	-	81	-	-	81
加速償却費および資産減損費	18	-	-	-	18
解雇手当およびその他の解約料	-	-	19	-	19
配置転換費および維持費	3	-	-	-	3
見積もりの修正	-	-	(11)	-	(11)
	<u>\$ 21</u>	<u>\$ 81</u>	<u>\$ 8</u>	<u>\$ 265</u>	<u>375</u>
上記項目に対する所得税					(40)
継続事業による純利益の減少					<u>\$ 335</u>

2004年12月31日までの12か月間

	売上原価	研究開発費	外部調達による進行中の研究開発費	事業売却益	リストラクチャリング引当金およびその他項目、正味	訴訟調停費用/(利益)	その他費用、正味	合計
訴訟関連:								
民事訴訟および政府調査(a)	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 336	\$ -	\$ 336
製造物責任	75	-	-	-	-	-	11	86
医薬品価格および売上高訴訟(b)	-	-	-	-	-	34	-	34
商事訴訟	26	-	-	-	-	-	-	26
反トラスト訴訟	-	-	-	-	-	50	-	50
製造物責任保険の回収	(25)	-	-	-	-	-	-	(25)
	76	-	-	-	-	420	11	507
その他:								
成人向け医療用栄養食品事業売却益	-	-	-	(320)	-	-	-	(320)
加速償却	100	3	-	-	-	-	4	107
世界事業の縮小および合理化	1	-	-	-	104	-	-	105
マイルストーン・ペイメント	-	55	-	-	-	-	-	55
アコーデイス買収による進行中の研究開発費	-	-	63	-	-	-	-	63
	\$ 177	\$ 58	\$ 63	\$ (320)	\$ 104	\$ 420	\$ 15	517
上記項目に対する所得税								(130)
外国利益の本国送金に対する優遇税率								575
税金等調整								10
継続事業による純利益の減少								\$ 972

- (a) 第4四半期に記録された引当金1,600万ドルからなる卸売業者の在庫と会計関連、および2004年第2四半期に当社が開示した3億2,000万ドルに関係します。昨年はこれらの金額に1億5,000万ドルが記録され、引当金合計は4億8,600万ドルとなっていました。
- (b) 昨年は1億ドルが記録され、引当金合計は1億3,400万ドルとなっていました。

2003年12月31日までの12か月間

	売上原価	研究開発費	リストラクチャリング引当金およびその他項目、正味	訴訟調停費用/(利益)	合計
訴訟関連:					
民事訴訟および政府調査	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 150	\$ 150
製造物責任	-	-	-	15	15
医薬品価格および売上高訴訟	-	-	-	100	100
訴訟調停収益	-	-	-	(66)	(66)
	-	-	-	199	199
その他:					
ライセンス契約の一時金	-	102	-	-	102
加速償却費および資産減損費	64	-	-	-	64
解雇手当およびその他の解約料	-	-	53	-	53
配置転換費および維持費	3	-	13	-	16
見積もりの修正	-	-	(40)	-	(40)
	\$ 67	\$ 102	\$ 26	\$ 199	394
上記項目に対する所得税					(36)
継続事業による純利益の減少					\$ 358

このプレス・リリースに関するお問合せ先：

〒163-1328

新宿区西新宿6-5-1 西新宿アイランドタワー

ブリistol・マイヤーズ株式会社

広報部門

池浦 幹子

電話： (03) 5323-8300 (代表)

(03) 5323-8314 (広報部門代表)